

Library NEWS

川口市立高等学校
No.2 R6年度 6月号
一年次図書委員

新学期が始まって、早くも2ヶ月が経ちました。
その中で1度でも図書館に行ったことはありましたか？
少し余裕が出来たときにでも立ち寄ってみると、
新しい出会いや発見があるかもしれませんよ。



「かがみの孤城」 辻村 深月 ポプラ社

2018年本屋大賞を受賞した作品。

皆さんは、なんだか今日は学校に行きたくないなと思ったことはありますか。この作品は、あまり学校に通えない、いわゆる不登校と呼ばれる7人の子供達がそれぞれの家の「かがみ」から繋がる、立派で、そしてままごのような「孤城」へ集い、関わりあっていく物語です。彼らは最初、城に訪れたときに狼の面を着けたオオカミ様と名乗る少女と出会いますが...。特に一人一人の子供たちの繊細な心理描写や所々にあるヒント(いわゆる伏線)が見所で、あなたはどんどん引き込まれるでしょう。

「本当にあった医学論文」 倉原 優 中外医学社

この本は、医学界の驚くべきエピソードをユーモラスに紹介した一冊です。実際の医学論文を基に、奇想天外な治療法や信じがたい症例を解説しており、難解な論文ではなく雑誌のような読み物として、専門知識がなくても楽しめます。具体的な症例として「腸内にゴキブリ」や「自然に緑色に染まる髪」などが挙げられています。医学の奥深さと人間の好奇心が融合した内容は、医療関係者だけでなく、一般人にも新しい視点や知識を発見させてくれます。医学の世界に興味を持つ全ての人におすすめです。また、左開きで横書きという構成も特徴的です。

本当に あった 医学論文

倉原 優

中外医学社

コラム!

雨音の癒し効果

雨音にはリラックス効果があるとされています(ハイパーソニック効果)。一定のリズムで降り続く雨の音は、人間の脳にとって心地よいホワイトノイズとなり、集中力を高める助けになるそうです。この効果を利用して、読書に没頭するのはまさに理にかなっていると言えるでしょう。言うなれば、雨音は自然のBGMですね。

表紙画像は出版社の許可を得て掲載しています